

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
						■	▼	●	●		
芸術	音楽Ⅰ	2	選択必履修	講義・実習	30	■	▼	●	●		
学習目標	<p>○音楽の幅広い活動を通して、思いや意図をもって表現・鑑賞する力を育てる。</p> <p>○生涯にわたって音楽に親しんでいくための基礎となる力を育てる。</p> <p>○日本及び世界の様々な音楽に触れ、楽曲そのものだけでなく、その背景となる文化や歴史についても理解を深め、広い視野で音楽を捉えられるようにする。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○歌唱：独唱、斉唱、少人数のアンサンブル、合唱を通して、日本語や外国語の歌詞を味わい曲種に応じた発声に気を付けて表現する。</p> <p>○器楽：クラシック・ギターの基礎的な奏法を身に付け、独奏や重奏を行う。声や楽器、身体表現を用いた様々なアンサンブルを体験する。</p> <p>○鑑賞：オペラ・ミュージカル作品、音楽を題材にした映画を鑑賞する。</p>									
教科書副教材等	27	教芸	音Ⅰ027-901	『MOUSA1』(教育芸術社)							
留意事項	<p>○他の芸術科目Ⅰと同時登録はできない。</p> <p>○実技が中心となるため、出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に筆記・実技試験を実施する。</p> <p>○卒業するためには「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。</p>										
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 筆記・実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>										
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 令和8年度新生、または現在1年次以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」と同時に履修登録していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次		
						-	○	○	○		
芸術	音楽Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	30	-	○	○	○		
学習目標	<p>○「音楽Ⅰ」の学習を基礎にして、さらに奥深い表現の能力と主体的な鑑賞の能力を育てる。</p> <p>○生涯にわたって豊かな音楽活動をするための基礎となる力を確実に身に付ける。</p> <p>○多種多様な音楽に興味・関心をもって深く味わい、音楽の文化的、歴史的背景について学ぶ。</p>										
主な学習計画	1年間の学習	<p>○歌唱：日本語、外国語の歌曲を通して、正しい発声法を身に付ける。歌詞の内容を理解しメロディーやリズムとの関わりを理解して表現する。</p> <p>○器楽：クラシック・ギターの基本的な奏法を身に付け、アンサンブルを行う。</p> <p>○創作：リズム創作、コードの上でのメロディーの創作を行う。</p> <p>○鑑賞：音楽を題材とした映画を鑑賞し、音楽史についても学ぶ。</p> <p>○楽典：コードのしくみを学習し、ギターやキーボードでの基本的なコードの押さえ方を覚える。</p>									
教科書副教材等	27	教芸	音Ⅱ703	『MOUSA2』(教育芸術社)							
留意事項	<p>○「音楽Ⅰ」を履修していること。</p> <p>○実技が中心となるため出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に筆記・実技試験を実施する。</p> <p>○「音楽Ⅰ」と比較し、さらに意欲的、主体的に取り組む姿勢が必要。</p>										
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 筆記・実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>										
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「音楽Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。「音楽Ⅰ」と同時登録不可。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	音楽Ⅲ	2	自由選択	講義・実習	30	-	-	○	○
学習目標	<p>○「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の学習を基礎にして、さらに自分の適性や興味・関心に応じた活動を展開し、自分なりの表現の能力、鑑賞の能力を高める。</p> <p>○様々な音楽活動を通して感性を磨き、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。</p> <p>○多種多様な音楽に興味・関心をもって深く味わい、音楽文化を尊重する態度を身に付ける。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○歌唱：独唱、少人数のアンサンブル、合唱を通して表現意図をもって創造的に歌う能力を高める。</p> <p>○ソルフェージュ：視唱、聴音</p> <p>○楽典：音大受験レベルの楽典問題の演習を行う。</p> <p>○器楽：楽曲の編曲をした上で、ギター・キーボード等を用いてアンサンブルを行う。</p> <p>○鑑賞：管弦楽曲の鑑賞、現代音楽の鑑賞を通して音楽の多様な価値について理解を深める。</p>							
教科書副教材等	27	教芸 音Ⅲ701	『Joy of Music』(教育芸術社)						
留意事項	<p>○「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」を履修していること。</p> <p>○実技が中心となるため出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に筆記・実技試験を実施する。</p> <p>○「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」よりもさらに意欲的、主体的に取り組む姿勢が必要。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 筆記・実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「音楽Ⅱ」を履修済み(または見込み)である。「音楽Ⅱ」と同時登録不可。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	ピアノ実習	2	自由選択	講義・実習	15	-	○	○	○
学習目標	<p>○選んだ楽曲に興味を持ち、演奏に生かせる姿勢を身に付ける。</p> <p>○歌に簡単な伴奏を付ける技能を身に付ける。</p> <p>○連弾の演奏を通して、人と一緒に演奏する能力を身に付ける。</p>								
主な学習計画	1年間の学習	<p>○演奏の姿勢について</p> <p>○独奏曲の演奏と発表</p> <p>○音階</p> <p>○伴奏法</p> <p>○連弾曲の演奏と発表</p>							
教科書副教材等	独自プリント使用								
留意事項	<p>○「音楽Ⅰ」を修得していること。</p> <p>○実技が中心となるため出席状況や授業への参加態度が重視される。</p> <p>○学習評価期間等に実技試験を実施する。</p> <p>○「音楽Ⅰ」の評定3以上が望ましい。</p>								
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験    <input checked="" type="checkbox"/> 発表</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>								
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「音楽Ⅰ」を修得済み(または見込み)である。「音楽Ⅰ」と同時登録不可。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>								

# 芸術

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
芸術	美術Ⅰ			2	選択必修	講義・実習	25	■	▼	●	●
学習目標	<p>○絵画、彫塑、デザイン、映像メディアなど幅広い表現から観察力や想像力を養い、多様な表現技法を身に付ける。</p> <p>○参考資料や映像などから様々な表現の作品鑑賞を行い、豊かな情操を養う。</p>										
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	<p>○用具の使い方、特性理解</p> <p>○絵画:鉛筆デッサン ポールペン画</p> <p>○デザイン:色彩構成</p> <p>○立体カード制作</p> <p>○鑑賞</p>									
教科書副教材等	116	日文	美Ⅰ116-901	『新 高校生の美術1』 ※再履修等で、『高校生の美術Ⅰ』がある場合は購入しなくてよい。							
留意事項	<p>○他の芸術科目Ⅰと同時登録はできない。</p> <p>○実習に伴う道具等は学校側で準備する。</p> <p>○消耗品と材料費として2,500円程度(令和7年9月時点)を年次積立金から支出する。再履修などで年次積立金から支出できない場合は、履修登録時に教材費を納める。</p> <p>○卒業するためには、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。</p>										
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input type="checkbox"/> 定期考査</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>										
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 令和8年度新入生、または現在1年次以上。</p> <p><input type="checkbox"/> 「音楽Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」と同時に履修登録していない。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>										
オススメ図書	『西洋美術史入門』(早坂優子) 『日本美術史』(美術出版社)										

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
芸術	美術Ⅱ			2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	<p>○長期的な計画のもとに様々な造形活動を行う。「美術Ⅰ」の表現に対する理解をさらに深め、主体的に表現技法を選択し、発表できる能力を養う。</p> <p>○鑑賞から絵画・デザインの在り方について理解を深める。</p>										
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	<p>○鉛筆デッサン</p> <p>○ポスターデザイン</p> <p>○絵画制作</p> <p>○立体制作</p> <p>○鑑賞</p>									
教科書副教材等	116	日文	美Ⅱ702	『高校生の美術2』(日本文教出版)							
留意事項	<p>○「美術Ⅰ」を履修していること。</p> <p>○実習に伴う道具等は学校側で準備する。</p> <p>○消耗品と材料費として5,000円程度を個別に徴収する。</p>										
評価の方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 出席状況    <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組    <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出    <input type="checkbox"/> 定期考査</p> <p style="text-align: right;">以上の点を総合的に評価する。</p>										
履修条件セルフチェック	<p><input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「美術Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。</p>										
オススメ図書	『西洋美術史入門』(早坂優子) 『日本美術史』(美術出版社) 『油絵初級レッスン』(早坂優子)										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	工芸Ⅰ	2	選択必履修	講義・実習	20	-	▼	●	●
学習目標	○工芸の制作活動を通して、ものをつくる楽しさを味わう。 ○工芸作品を鑑賞し、生活を豊かにする工芸の在り方について理解を深める。								
主な学習計画	1年間の学習	○様々な素材の加工体験 ○工芸技法についての学習 ○立体デザインの基礎							
教科書副教材等	116	日文	工Ⅰ301	『工芸Ⅰ』(日本文教出版)[15期生まで]					
	116	日文	工Ⅰ701	『工芸Ⅰ』(日本文教出版)[16期生以降]					
留意事項	○他の芸術科目Ⅰと同時登録はできない。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備。材料は教材費より購入。 ○消耗品と材料費として2,500円程度を年次積立金から支出する。 ○卒業するためには、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」と同時に履修登録していない。 <input type="checkbox"/> 安全に配慮し、周囲と協力しながら、指示された作業をすることができる。 <input type="checkbox"/> 根気強く丁寧な作業ができる。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	能作克治「踊る町工場」 原田一敏「自在置物」								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	工芸Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	20	-	-	○	○
学習目標	○「工芸Ⅰ」での基礎を基に、「使う」という工芸の意図を考えた作品づくりを行う。 ○工芸作品に触れ親しみ、工芸の多様な表現の技法を身に付けるとともに感性を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○1学期1つ以上の素材加工技術の習得 ○「工芸Ⅰ」で学んだ立体デザインの基礎をふまえ、自身のデザインを形にする							
教科書副教材等	116	日文	工Ⅱ301	『工芸Ⅱ』(日本文教出版)[15期生まで]					
	116	日文	工Ⅱ701	『工芸Ⅱ』(日本文教出版)[16期生以降]					
留意事項	○「工芸Ⅰ」を履修していること。 ○工芸Ⅰで学んだことを活かし、道具を正しく安全に使用して制作を進めること。 ○消耗品と材料費として5,000円程度を個別に徴収する予定。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上で、「工芸Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	谷崎純一郎「陰翳礼賛」 柳宗悦「手仕事の日本」								

# 芸術

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	書道Ⅰ	2	選択必修	講義・実習	28	■	▼	●	●
学習目標	書への関心を高め、古典作品の臨書を通して鑑賞力と表現力を培って手書きの効果を考える。								
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆:楷書(漢字)、楷書の基本、行書の基本を習う。</li> <li>○硬筆:楷書、行書。但し、あくまで毛筆を操ることの延長として考える。</li> <li>○篆刻:朱文か白文の作品を仕上げる。主に自分の名前の判子(ハンコ)を作る。</li> <li>○臨書と創作:漢字の作品を仕上げる。バランス感覚を培い、質の向上に磨きをかける。</li> </ul>							
教科書副教材等	2	東書	書Ⅰ002-901	『書道Ⅰ』(東京書籍)					
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の芸術科目Ⅰと同時登録はできない。</li> <li>○実習にともなう材料は、積立金から支出し、学校で準備する。ただし書道道具は、半紙も含め各自で準備する。</li> <li>○卒業するためには、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」「書道Ⅰ」のいずれか1科目2単位を履修しなければならない。</li> </ul>								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 令和8年度新生、または現在1年次以上。 <input type="checkbox"/> 「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「工芸Ⅰ」と同時に履修登録していない。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『名画を見る目Ⅰ、Ⅱ』(高階秀爾)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	書道Ⅱ	2	自由選択	講義・実習	25	-	○	○	○
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書道Ⅰ」での習得を基に書法のバリエーションを臨書から学び、表現力と観察眼に磨きをかける。</li> <li>○歴史的考察を通して手書きと活字の未来、アナログとデジタルの役割と効果の違いを考える。</li> </ul>								
主な学習計画	1年間の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆:篆書(主に小篆体)、隸書、草書、行書、仮名の臨書。単体、連綿体を学習する。</li> <li>○篆刻:印稿を作って朱文、もしくは白文の印を作る。その際、日本と中国、台湾の作家の生の作品を見てヒントを得るか、もしくはグーグルレンズ等を使って印面の文字構成を考える。</li> <li>○鑑賞:書や印の作品を通して主に「和」や「静」あるいは「動」などの高い精神文化を感じ取る。また海外の印章との相違を見て、文化的背景を学ぶと共に、碑文を読むことにも注力する。</li> </ul>							
教科書副教材等	2	東書	書Ⅱ701	『書道Ⅱ』(東京書籍)					
留意事項	○消耗品と材料費として2,000円程度を個別に徴収する予定。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上で、「書道Ⅰ」を履修済み(または見込み)である。「書道Ⅰ」と同時登録不可。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『書の歴史』(伏見冲敬)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	素描 α	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○対象をじっくりと観察し、客観的なものの見方を身に付け表現する力を養う。 ○美術系進学に向けて必要なデッサン力を身に付ける。								
主な学習計画	1年間の学習	○静物画デッサン(鉛筆) ○石膏デッサン(鉛筆) ○着彩デッサン(鉛筆・色鉛筆)など ○有彩紙デッサン							
教科書副教材等	独自プリント使用								
留意事項	○デッサンに興味・関心が高く、集中して制作できる生徒が対象となる。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備する。 ○消耗品と材料費として 1,000 円程度を個別に徴収する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『鉛筆画初級レッスン』『代ゼミの石膏デッサン教室』(内田広由紀)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	絵画表現	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○絵画の歴史と技法について理解し、絵画表現への興味・関心を高める。 ○絵画制作を通じて自らのアイデンティティを自覚し、自己表現することの楽しさを知る。 ○用具や技法について理解し表現力の向上を図る。								
主な学習計画	1年間の学習	○油彩画制作 ○版画制作 ○ミクストメディア ○作品鑑賞							
教科書副教材等	116	日文	美 I 702	『高校生の美術1』※ ※ 『高校生の美術 I』が手元に無い場合は、『新 高校生の美術 I』(美 I 116-901)を購入					
留意事項	○「美術 I」か「素描 α」を履修していること。 ○実習に伴う道具等は学校側で準備する。 ○消耗品と材料費として 5,000 円程度を個別に徴収する。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件	<input type="checkbox"/> 「美術 I」もしくは「素描 α」を履修済み(または見込み)である。								
セルフチェック	<input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『絵画の見かた』『西洋美術史入門』『油絵初級レッスン』(早坂優子) 『日本美術史』(美術出版社) 『日本画ノート・基礎』(視覚デザイン研究所)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	基礎デザイン	2	自由選択	講義・実習	25	-	○	○	○
学習目標	○デザインの基礎を学び、ソフト(Adobe Illustrator・Photoshop等)を用い制作する。 ○ビジュアルデザイン及び映像メディア表現の基礎的な技法と知識を身に付け、興味関心に合わせてそれらの科目を履修できるようになる。								
主な学習計画	1年間の学習	○デザインの基礎的表現・技法 ○イラストレーターを使った作品制作 ○ストップモーション作品制作(カメラを使用したショートムービー制作) ○アニメーション作品制作(手描きショートアニメーション制作) ○鑑賞・作品発表							
教科書副教材等	『なるほどデザイン目で見て楽しむデザインの本』(MdN コーポレーション)								
留意事項	○パソコンでの作品制作、美術やデザインに興味関心が高い生徒が対象となる。 ○中間モニターを用いての講義・実技指導が中心となる。 ○PCの基本操作の習熟ではなく、ある程度PCが使えることが前提の授業になるので注意。 ○実技中心授業の為、出席、授業態度、並びに作品の内容と提出の可否が重視される。 ○3年次以降に「ビジュアルデザインα」や「映像表現α」を履修したい人は、必ず履修すること。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在1年次以上である。 <input type="checkbox"/> 芸術に対する強い興味・関心・意欲を持っている。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『やさしいデザイン 誰でもかんたん、レイアウト・配色・文字組』(武田 瑛夢)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1年次	2年次	3年次	4年次
芸術	ビジュアルデザインα	2	自由選択	講義・実習	25	-	-	○	○
学習目標	○基礎デザインで学んだことをもとに、より発展的な視覚伝達デザインについて学ぶ。 ○描画ソフト(Adobe Illustrator・Photoshop)を用いた制作を行う。								
主な学習計画	1年間の学習	○学校紹介ポスター制作 ○総祭(文化祭)ポスター制作 ○プロダクトデザイン(ブックカバーデザイン・パッケージデザイン等) ○イラストレーション制作							
教科書副教材等	『世界一わかりやすい Illustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書』(技術評論社)								
留意事項	○「基礎デザイン」を履修しており、美術やデザインに興味関心が高い生徒が対象となる。 ○実技中心授業の為、出席、授業態度、並びに作品の内容と提出の可否が重視される。 ○根気強くデザインを練り上げ、時間をかけて作品を仕上げる必要がある。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「基礎デザイン」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『ノンデザイナーズ・デザインブック』(Robin Williams)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
芸術	映像表現α	2	自由選択	講義・実習	25	-	-	○	○
学習目標	○映像表現の基礎的な知識について学ぶ。 ○映像作品の自主制作ができるようになる。 ○多様な映像作品を鑑賞し、創造的な能力を高める。								
主な学習計画	1年間の学習	○映像の基礎知識(絵コンテ、音入れ(アフレコ)、制作スケジュール等) ○撮影と編集(短編の映像作品) ○映像編集ソフトの活用方法 ○映像メディア作品の鑑賞 ○自主映像作品制作(短編アニメーション制作)							
教科書副教材等	『アニメーションの本』(合同出版)								
留意事項	○「基礎デザイン」を履修していること。 ○映像分野で活躍されている講師が本校教員とともに授業を進める。 ○専門的な技術指導を行うため積極的な授業参加が求められる。								
評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業への取組 <input checked="" type="checkbox"/> 課題等の提出 <input type="checkbox"/> 定期考査					以上の点を総合的に評価する。			
履修条件セルフチェック	<input type="checkbox"/> 現在2年次以上である。 <input type="checkbox"/> 「基礎デザイン」を履修済み(または見込み)である。 <input type="checkbox"/> 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『創作アニメーション入門基礎知識と作画のヒント』(山村 浩二)								

授業選択の話③

授業以外で単位を修得する方法 ～マイレージ・技能審査・高認～

授業以外では次のような方法で単位が修得できます。  
 詳しくは学校生活の手引きに載っています。(事前に申請が必要です。)  
 担任の先生に相談しながら、計画的に単位を修得しましょう。

〔1〕社会体験活動(マイレージ)

以下の活動の累積時間が1575分たまると1単位認定されます。

- ① 進路体験期間
- ② 進路体験活動
- ③ 社会体験実習
- ④ 検定対策講座
- ⑤ ボランティア活動
- ⑥ 校内別室での学習アプリによる学習

〔2〕技能審査

在学中に取得(合格)した場合に増加単位として認定されます。

(対応する科目の修得が必要です。未修得の場合は増加単位の認定もされません。)

例：日本漢字能力検定2級合格 ⇒ 「現代の国語」など3単位分増加単位認定

簿記検定1級合格 ⇒ 「簿記」に4単位分増加単位認定

(「簿記」は4単位なので、あわせて8単位。)

★学校生活の手引きにいろいろ掲載されています。単位が多いほど難しくなります。

〔3〕高等学校卒業程度認定試験(高認)

事前申請が必要です。必ず担任の先生に相談してください。